

▼アコアラン静注用 [注]

【重要度】 【一般製剤名】 アンチトロンビン ガンマ (遺伝子組換え) antithrombin gamma (genetical recombination) 【分類】 血液凝固阻止剤

【単位】 ▼600 国際単位/V [注射用水 12mL 付]

【常用量】 ■先天性アンチトロンビン欠乏に基づく血栓形成傾向：24～72IU/kg/日

■アンチトロンビン活性が正常の 70%以下に低下した DIC：36IU/kg/日 [最大 72IU/kg/日] 用量変更時には AT 活性を確認することが望ましい

【用法】 1 日 1 回、添付の注射用水に溶解して緩徐に静注 [溶解後は室温に戻しておく]

【透析患者への投与方法】 常用量 (1)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 常用量 (1)

【特徴】 ヒト天然型 AT と同一のアミノ酸配列かつ同タイプの糖鎖構造を持つ遺伝子組換えヒト AT 製剤 [CHO 由来]。生物由来。ノイアートの 1.2 倍量で生物学的同等性が確認。

【主な副作用・毒性】 ショック, アナフィラキシー, 消化管出血, 血尿, 肝機能異常, 貧血, 脳梗塞, 皮膚症状, 消化器症状など

【代謝】 資料なし (1)

【排泄】 資料なし (1)

【CL】 2.5mL/hr/kg [60IU/kg 投与时] (1)

[t1/2] 58hr [60IU/kg 投与时], 81hr [72IU/kg 投与时] (1)

【蛋白結合率】 該当しない (1)

【Vd】 ほぼ血管内に分布すると思われる (5)

【MW】 約 57,000

【透析性】 資料なし (1) 除去されないと思われる (5)

【OW 係数】 該当しない (1)

【相互作用】 トロンボモジュリン：作用増強の可能性 (1)

【備考】 DIC においてヘパリンを併用する場合は、通常ヘパリン 10,000 単位を 1 日持続点滴することが適当と考えられるが、臨床症状により適宜増減。[ヘパリン投与速度は最大 500 単位/hr] (1)

【更新日】 20180403

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。